

E-1

浅間山北麓ジオパーク 鎌原大笹エリア

# 鎌原村・鎌原観音堂

## 火山噴火の恐ろしさ・災害の歴史を今に伝える

### ■■■大地の活動■■■

「鎌原観音堂」は、1783(天明3)年の噴火で発生した「鎌原土石なだれ」の最大の被災地である鎌原集落で唯一残った建物です。発掘調査による被害の状況や鎌原集落の独特の復興過程などは、火山学、防災学、社会学的にも極めて重要です。また、現在でも奉仕会の方々により保全管理されるとともに、地元住民や来訪者に歴史の語り継ぎが行われている点でも、当ジオパークにおいて最も重要なサイトの1つと言えます。



鎌原観音堂(生死を分けたと言われる石段)



来訪者への歴史の語り継ぎ